

# コンシューマ・サポート・サービス社

## 企業プロフィール

コンシューマ・サポート・サービス社 (CSS) は、約 2,500 人の従業員を擁し、米国オハイオ州全域で発達障害や身体障害を持つ人々にデイ・ハビリテーション、送迎、フルタイムの住み込み住宅サービスを提供する医療機関です。

## 業種

医療

## 所在地

米国オハイオ州

## 主なサービス

CSS は、以下のような重要なサービスを提供しています：

- ・ デイ・ハビリテーションとデイケア施設
- ・ 受診を予約している患者の送迎
- ・ 条件を満たした患者のためのフルタイムの住み込み住宅

## 課題：分散型デジタル・エコシステムの保護

2023 年、CSS はその業務を支えるデジタルシステムとサービスに関連する重大なセキュリティ上の課題に直面しました。VDI（仮想デスクトップインフラ）、Microsoft Azure と Office 365 のクラウドサービス、発券システム、リモートサポートシステムなどの主要サービスは、Active Directory と統合され、インターネット経由でアクセスできるようになり、遠隔地のスタッフにも対応できるようになりました。

便利になった一方で、特にパスワード・ハッシュの同期と認証のためのクレデンシャルの使用により、攻撃の対象になってしまいました。攻撃者は、セキュリティレベルの低いシステムを標的にし、特にパスワードベースの認証を悪用し、クレデンシャル・スタッフィング、ブルート・フォース、またはフィッシング攻撃によってユーザ・クレデンシャルを侵害する可能性があります。

さらに、Microsoft Azure などのプラットフォームでは、条件付きアクセス、ジオロケーション・フィルタリング（アクセスするユーザの地域を限定）、デバイスヘルスなどの高度なセキュリティ機能が提供されていますが、CSS の他のシステムの多くにはこれらの機能がありませんでした。システム全体で**統一されたセキュリティ管理が行われていない**ため、攻撃者は最もセキュリティレベルの低いシステムを攻撃し、侵害された認証情報を使って攻撃を他のシステムに拡大することが可能になりました。

もう一つの大きな問題は、**パスワードに対する疲労**です。スタッフは、セッションのタイムアウトの度に、また異なる複数のシステムにそれぞれのパスワードを入力してログインする必要があります。この一貫性のなさは、フィッシング攻撃のリスクを高めるだけでなく、パスワード管理の非効率性やスタッフ全体のフラストレーションにもつながっていました。

## 解決：ウィンマジックの MagicEndpoint の導入

Okta、Duo、Azure MFA（多要素認証）など、さまざまな IdP（アイデンティティ・プロバイダ）を評価した結果、CSS は、ほとんどの主流製品は、自分たちの懸念に完全に対応していないか、パスワードレス認証ソリューションを実装するために高価な追加のライセンスが必要であることがわかりました。

ウィンマジックの **MagicEndpoint** は、CSS の全システムでパスワードベースの認証を完全に排除できる数少ないソリューションの一つとして際立っていました。ウィンマジックのチームは CSS と緊密に連携し、トライアル環境を構築し、CSS の既存インフラにシームレスに統合できることを実証しました。

## 実施プロセス：

導入の際、ウィンマジックのチームは、DNS の設定、Firebase や Apple API へのプッシュ通知フローなど、CSS の設定に関する問題の特定と解決を支援しました。導入直後から認証は非常に合理化されエンドユーザはシステムを使いやすいと感じました。追加で IdP アカウントを作成する必要はなく、ユーザは MagicEndpoint 経由で携帯電話を登録するだけで、シームレスな認証が可能になりました。

## 影響 : セキュリティ強化と IT 管理者の負担軽減

MagicEndpoint の導入によりすぐに改善をもたらしました :

- パスワードリセット要求が 76% 減少 (一部のアプリケーションはまだ MagicEndpoint に移行前)
- ユーザアカウントのロックアウトが前年比で 94% 減
- ユーザアカウント管理が一元化され、より効率的になったため、IT 管理者の負担が軽減
- ユーザ・クレデンシャルやパスワードリセットを必要としないため、IT 管理者による認証の問題解決性が向上

統一されたログインエクスペリエンスにより、アプリケーション間でパスワードが再利用される可能性も大幅に減少しました。パスワードを使用しなければならないレガシー・アプリケーションでは、強力なランダム生成パスワードに置き換えることで (MagicEndpoint のパスワードマネージャー機能)、セキュリティ体制をさらに強化することができます。

## 効果 : セキュリティと効率の向上

MagicEndpoint により、CSS はクレデンシャルベースの攻撃を防ぐことができ、IT チームは他のセキュリティ強化に集中できるようになりました。ログインプロセスを合理化し、プラットフォーム間で一貫した認証ワークフローを実現したことで、スタッフのフラストレーションが大幅に軽減され、業務効率が向上しました。スタッフは、オンライン・アクセスにパスワードを入力したり、MFA を使用したりする必要がなくなったことに驚きました。MagicEndpoint とその “no user action” 機能を使い始めてわずか数日後、この新しい自由さに慣れるのに少し時間がかかりましたが、ほとんどのスタッフは、以前の面倒な認証プロセスに戻ることを想像できませんでした。

## 今後の展望

CSS はウィンマジックの開発者と密接に協力し、迅速な製品改良の恩恵を受けています。MagicEndpoint ソリューションは、CSS の長期的なセキュリティ戦略の重要な要素であることに変わりはなく、同社は将来の機能拡張と、さらなるセキュリティの強化に期待しています。

## 推奨 : MagicEndpoint による安全な未来

ウィンマジックの MagicEndpoint は、Microsoft Windows のクレデンシャルベースの認証から脱却を模索している組織に強くお勧めします。パスワードレス認証がクレデンシャル関連の攻撃を防ぐための重要なソリューションであることが業界のトレンドになっていますが、MagicEndpoint は業界リーダーとして、現代のセキュリティの課題に対処し、継続的に進化するソリューションとなっています。

“ MagicEndpoint はまさに認証の未来を開拓している。SMS やプッシュ通知のような時代遅れの方法が完全に廃止されるのは時間の問題です。フィッシングや sim スワッピング、その他広く使われている悪質な手法に対して脆弱であることが知られているからです。MagicEndpoint のテクノロジーは、その「no user action」アプローチと、主要な認証要素としてのクレデンシャルを排除することで、数マイル先を走っている。市場全体が移行していく技術です。 ”

- Ian Armstrong - CSS、システム・エンジニア

## ウィンマジックが保護します

ユーザエクスペリエンスを妨げることなくデータを保護するウィンマジックの詳細については、[sales.jp@winmagic.com](mailto:sales.jp@winmagic.com) までお問い合わせください。または [WinMagic.co.jp](https://winmagic.co.jp) をご覧ください。

認証し、暗号化し、成し遂げる。



米国 / カナダ :  
+1 888 879 5879

欧州 / 中近東 / アフリカ (EMEA) :  
+49 69 175 370 530

日本 :  
+03 5403 6950

